



津奈木ハートマン計画

虹をテーマに地域の人々と共同でパフォーマンスなどを行うレインボー岡山氏とワークショップの計画・実施を行いました。季節ごとに4回実施し、一般参加者を迎えて、重盤岩や、眼鏡橋、ときの翔、自然などをキャンパスに様々な色の風船や毛糸などの人工物を使って虹のアートを完成させました。今プロジェクト最後となる第4弾では町民を中心に約1300人分の手形を集め、美術館を虹色に染めました。



大地のメモリア

彫刻家の勝野眞言氏を中心に婦人会や地域おこし団体のメンバー、住民、学校関係者7人で構成された実行委員会が企画したワークショップ。水俣市久木野から採れた陶土を使用し小・中学生を中心とした参加者200人余りが各自の思いを形にして彫刻を制作した。焼きあがった作品は約350点にも及び、つなぎふれあい祭りで展示されました。



TSUNAGI ハート!アート!パラダイス!

県立劇場とつなぎ美術館の合同で行われた当プロジェクト。グラフィックデザイナー・松永壮氏と舞踏家・森下真樹氏を講師とし、一つの舞台を作り上げました。12月にはダンスと芸術を融合させた公演会を開催。松永氏と地域の子もたちが作り上げた大漁旗で会場を華やかに彩りました。地域のオヤジ11人で結成されたオヤジダンサーズによるダンスは森下氏による猛特訓の成果で公演は大成功をおさめました。

つなぎ美術館 これまでのプロジェクト



光と風の回廊

アーティストに美術家の上妻利弘氏を迎え、地域おこし団体、婦人会、森林組合、PTA、年輪会(木・製材業者関連団体)など地域を拠点に活動する団体の所属メンバーを中心とした10人で構成される実行委員。地域住民が地域資源を活かした「森の家」、「風の彫刻」、「生命」などを制作し表現活動を行いました。



赤崎海想日誌

彫刻家の今田淳子氏と芸術家のレインボー岡山氏を迎え閉校となった海の上の小学校を舞台に年間を通じて表現活動を行いました。旧赤崎小学校の卒業生で構成された実行委員からアイデアを出し合い、オブジェや繭玉、手芸品など多種多様なアートで参加者それぞれの個性を發揮しました。



赤崎水曜日郵便局

自分の水曜日の物語を手紙に書くと知らない誰かの水曜日が送られてくるという不思議なプロジェクト。現在継続中の当プロジェクトは、地域住民を中心に結成された赤崎水曜日郵便局実行委員会で旧赤崎小学校に手紙を投函するスイスイ箱やプロジェクトを象徴する灯台ポストが設置されました。届いた手紙の一部は毎週水曜日にインターネットラジオのラジオNIKKEI第2で朗読されています。現在手紙の数は1千通を超えており今後の活動にも期待されます。

つなぎ美術館

地域創造大賞(総務大臣賞)受賞

アート 芸術と共に生きる

平成26年1月17日(金)、つなぎ美術館が平成25年度地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞しました。地域創造大賞(総務大臣賞)とは何なのか、評価の対象となった「つなぎ美術館」のこれまでのプロジェクトを紹介いたします。

地域創造大賞 (総務大臣賞)とは

この賞は財団法人地域創造により平成16年度から創設され今年度が10回目の表彰となります。地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあつた公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することによって、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的としています。

全国からの地方公共団体から応募のあつた施設について地域創造大賞審査委員会において審査を行い、その結果を受けて決定されます。79施設目の受賞

「つなぎ美術館」
今回表彰された施設を含む

現在、日本全国79施設が表彰を受けており、九州では13施設、県内では熊本市現代美術館と熊本県立劇場、つなぎ美術館の3施設のみです。平成13年にオープンしたつなぎ美術館は、人口約5000人の小さな町の美術館、緑と彫刻のあるまちづくりのシンボル施設として表彰されました。重盤岩(熊本百景)に登るモノレールの併設や婦人会と協力した運営、1年かけて町民やアーティストとともに作り上げるアートプロジェクトの実施など、住民にアートによる新しい経験を提供し、心豊かな生活の実現に貢献したことが評価されました。



「縁の下の力もち」

津奈木町連合婦人会有志らによる つなぎ美術館喫茶部



つなぎ美術館がこのような名誉な賞を受賞したことは、美術館のオープン当初から運営に携わってきた私たち婦人会にとっても大変嬉しいことです。最初は戸惑いや不安もありました。しかし、運営に協力してきたこの13年間で、当たり前と思っていた町の良ところを町外からのお客様にたくさん教えられたり、それまで知らずともしなかつた町のことについて、いろいろ勉強できた13年間でもあつたと思います。これからも「縁の下の力もち」として美術館はもとより津奈木町全体を少しでも支えていければと思います。